



海岸防災工学

Coastal Disaster
Research Laboratory

防災研究所/DPRI
沿岸災害研究分野

研究室紹介

<http://www.coast.dpri.kyoto-u.ac.jp/>



すぐには役に立たないが10年後に社会貢献
Looking 10 years future

Main Target

沿岸災害ハザードの長期評価 Long-Term Assessment of Coastal Hazards

Laboratory motto

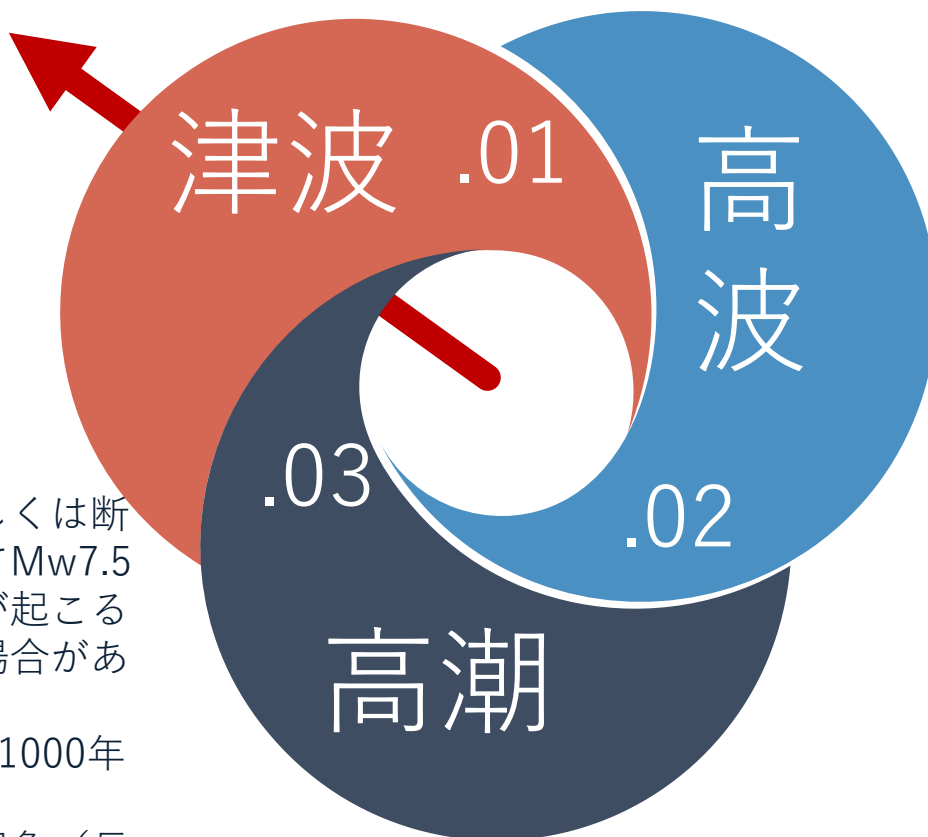
- トップレベルの研究 Keep top level research
 - 研究と人生を楽しもう Enjoy research and life
 - 周りの人に敬意を Respect your colleagues
- 

極端な沿岸災害から国土を守る

どこで?
強さは?
頻度は?

.01

海溝軸，もしくは断層上においてMw7.5以上の地震が起こると発生する場合がある
頻度：100～1000年に一度
現象：波動現象（長波）



.02

海面を吹く風により発生
頻度：数年～数十年に一度
現象：波動現象（短波）＋大気との相互作用

.03

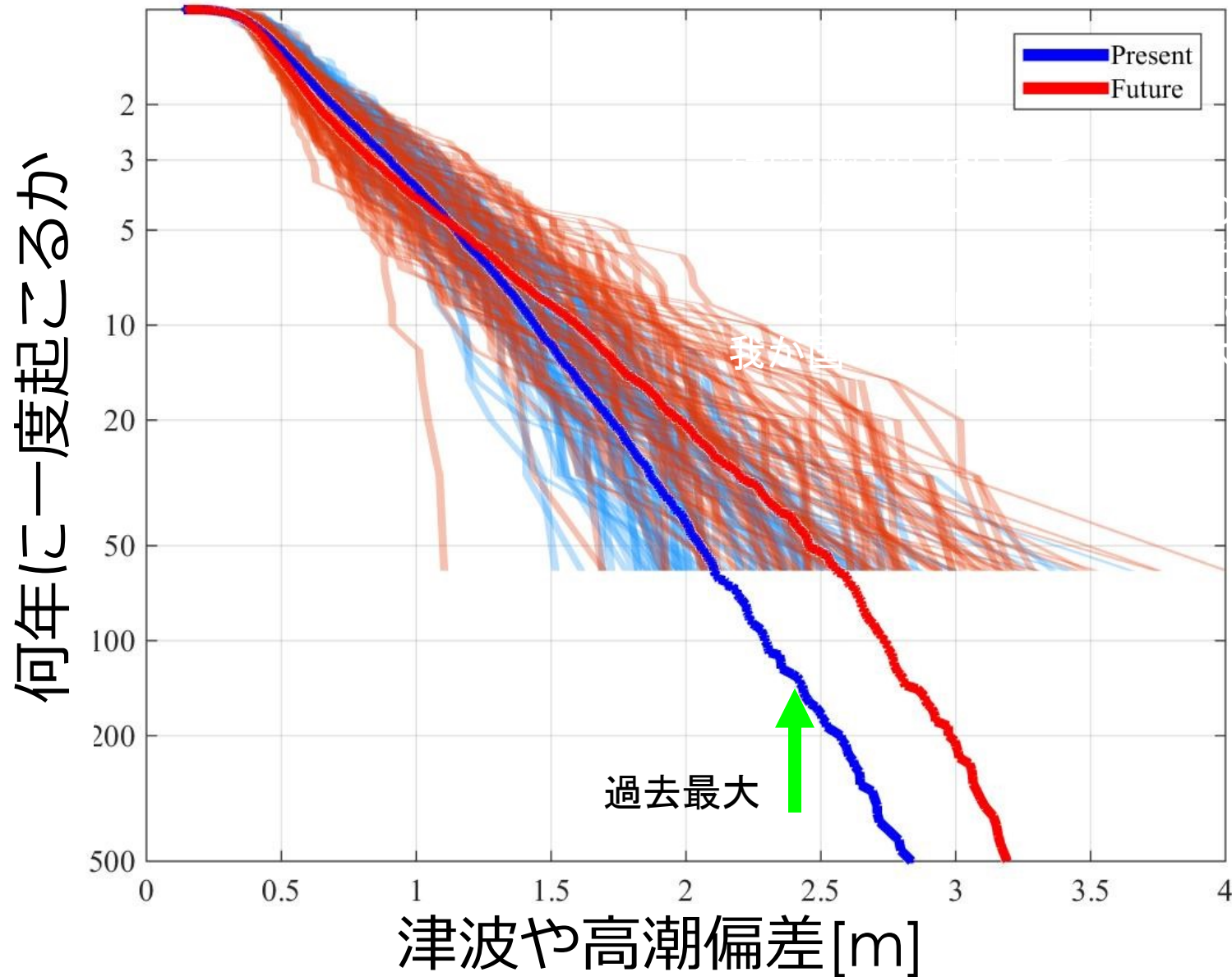
海面を吹く風と気圧低下により発生
頻度：数十年に一度
現象：波動（長波）＋流れ

研究室の特徴/Target

- キロ～メソスケール（1-1000km程度）の沿岸災害の科学と工学的応用を扱います.
km to meso scale coastal problem
- 科学と工学をつなぐ自然現象の理解とその応用に力を入れています.
Bridge between science and engineering
- 10年後に役に立つ世界を代表する研究を目指しています.
Top level research targeting 10yrs future

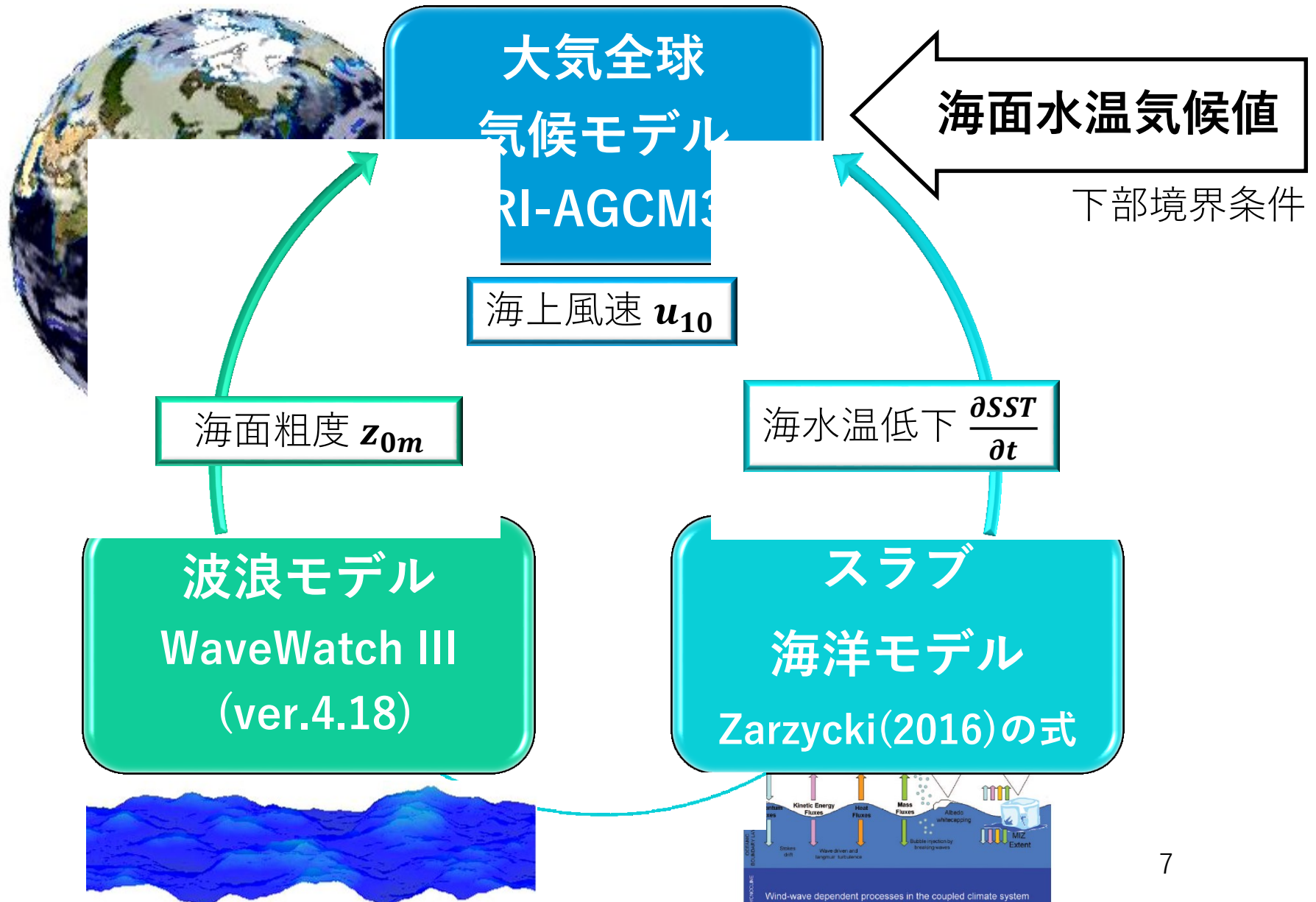


例：沿岸ハザードの長期評価



卒論の例：大気・海洋・波浪結合気候モデルの開発

気象研究所との共同研究



地球温暖化 影響評価・適応策

・IPCC第5次評価 報告書(2012年)

- ・ 5編引用

・2018年温暖化 統合レポート

- ・ 2018年2月発刊
- ・ 図面入りで多数引用

・High Impact 論文

- ・ Nature CCに論文掲載



気候変動の観測・予測及び影響評価統合レポート2018

～日本の気候変動とその影響～

環境省 文部科学省 農林水産省 国土交通省 気象庁

Member: Y2019/4

写真是一部本人と違います

教授
森 信人
Nobuhito Mori



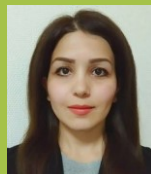
D3
宮下卓也



M2
浦野大介



特定助教(白眉)
Bahareh
Kamranzad



D1 (国費留学)
Audrius
Sabūnas



M1
高木雅史



特任助教
Adrean Webb



D1 (国費留学)
Zuorui Lyu



M1
小池宏之進



特任助教
Che Wei Chang



D1 (社会人)
藤木 峻
(港湾空港技術研究所)



M1
森 壮太郎



特定助教
志村智也
(協力)



D1 (社会人)
安藤 圭
(神戸製鋼)



B4
募集 1 or 2名

秘書
神崎景子
吉村美希



D1
福井信気



Lab Location:E-201D~E-210D



E棟 3F→2F

- ・エレベーター 3基
- ・階段 3箇所

それぞれ **1** つが正解

Steps

Here 2F

Shuttle
Bus

JR/Keihan Station



www.coast.dpri.kyoto-u.ac.jp
lab@oceanwave.jp

海の研究をしたい人
E-206D(学生部屋)を覗いて下さい

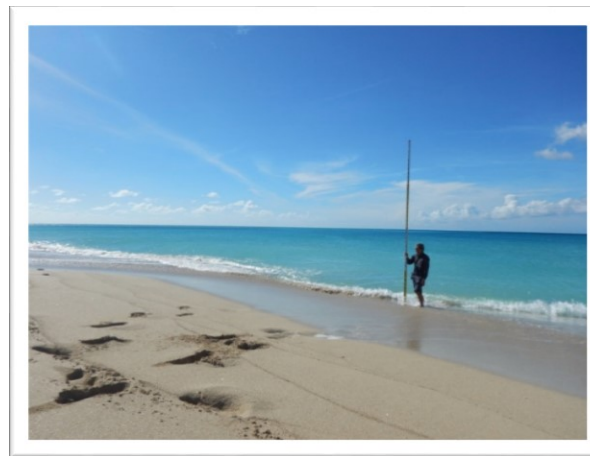
海なし県出身者も歓迎

The End

その他セールスポイント

- ・海に行くことができる
- ・できるだけ良い研究環境を提供
- ・黄檗駅に最も近い
- ・連絡バス乗り場正面
- ・コンビニに近い

- ・共同研究先
 - ・日本の色々な大学
 - ・文部科学省，環境省，国土交通省
 - ・民間企業・NGO
- ・国際共同研究
 - ・アメリカ，イギリス，メキシコ，台湾，韓国，南の島国



詳細編へ続く

